

計 画 年 度	令 和 7 年 度
都 道 府 県	静 岡 県
所 在 地	南 伊 豆 町

# 土地改良事業計画概要書

農地中間管理機構関連農地整備事業

みなと  
湊地区

事業主体	静岡県
------	-----

# 1 土地改良事業計画概要書

## 第1章 目 的

本地区は、二級河川青野川の河口から上流へ1 kmの右岸に位置する平坦な低地水田地帯である。農地は昭和初期に5 a 区画に整然と整備されているが、区画は小さく用排水路は未整備のうえ、農道も狭小であることから効率的営農が困難な状況である。

本事業により、区画整理を実施することにより、営農環境を改善し、農業の効率化と安定的な農業の継続を推進していく。

現況地区の面積

単位：ha

現況地目 市町村名	水田	畑	樹園地	山林・原野	その他	計	備考
南伊豆町	5.3	0.1			0.3	5.7	

事業目的別受益面積

単位：ha

現況地目 主幹事業	水田	畑	樹園地	山林・原野	その他	計	備考
区画整理		0.9	4.4		0.4	5.7	

## 第2章 当該土地改良事業の施行に係る地域の所在及び現況

### 1 地域の所在

静岡県賀茂郡南伊豆町湊、手石

### 2 土質及び土壌

土壌は、暗オリーブ灰色の細粒質であり、地表下50 cm以下にグライ土がみられる。

### 3 気 象

伊豆半島南端に位置する南伊豆町は、太平洋の黒潮の影響を受けた海洋性気候の特徴を示し、温暖な気候です。令和元年度における年平均気温は17.7℃で1月に9.0度と最も低く、8月に27.2度と最も高くなっている。過去40年間の気象結果によると、年間平均気温は15.5～17.7度、年間降水量は1,117～2,549mmとなっている。

#### 4 営農状況

本地区は極めて平坦な低地の水田地帯であり、水稻のほか、ごく一部で小規模な露地野菜と果樹の栽培がおこなわれているが、高齢化や後継者不足の影響もあり、農家戸数の減少や荒廃農地化が顕著になっている。

#### 5 地域の環境

南伊豆町は東京から車で約3時間半、電車では約2時間50分の場所に位置し、北東に下田市、北西に松崎町と面している。本地区の周辺には、日本の渚百選に選ばれた弓ヶ浜や湯量が豊富な下賀茂温泉などがある。

### 第3章 基本計画

水田の畑地化により、収益性の高い果樹や野菜等の作物への転換を図るとともに、ほ場の大区画化と道水路等の整備を一体的に行うことで、農作業の機械化と作物の収量増加を目指し、農業経営の安定化を図る。また、畑地化に必要な土砂は伊豆縦貫自動車道等の建設発生土を活用することで事業費のコスト削減を図る。

### 第4章 工事又は管理の要領

#### 1 工 事

(1) 区画整理	整地工	A=5.3ha
	道路工	L=0.8km (支線道路 B=3.0m)
	用水路工	L=0.8km
	排水路工	L=0.6km
	暗渠排水工	A=5.3ha

#### 2 管 理

この土地改良事業により造成された土地改良施設は、南伊豆町が静岡県から譲与又は管理委託を受け、条例に基づき管理する。

### 第5章 換地計画の要領

#### 1 換地計画樹立の必要性

該当なし

#### 2 換地計画樹立の基本方針

該当なし

#### 3 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る土地

該当なし

4 換地処分 of 時期に関する制限

該当なし

第6章 費用の概算

単位：千円

種 別	事 業 費	備 考
工 事 費	187,000	
測量設計費	35,000	
換 地 費	—	
用地補償費	41,000	
工事雑費	—	
小 計	263,000	
生産基盤附帯整備	25,000	
事 務 費	14,000	
合 計	302,000	

第7章 効 果

単位：千円

区 分	年総効果額	年総増加所得	備 考
作物生産効果	20,343	46,037	総費用 254,389 千円
国産農産物安定供給効果	5,082	—	
営農経費節減効果	5,780	5,780	総便益額 488,202 千円
維持管理費節減効果	△369	△201	
			投資効果 1.91
計	30,836	51,616	

第8章 他の事業との関連

該当なし

第9章 計画平面図

別添のとおり